

私達の身の回りの多くのモノは、産業用ロボットによつて作られている事は想像でできますよね。この産業用ロボットの動力源に空気を利用している事を、存じでしようか。

第7回の上伊那の仕事とくらしの特集は、この空気の力を利用した製品を開発・製造・販売している株式会社日本ピスコです。

日本ピスコは空気圧機器メーカーで、製品点数は何と2万点超。そして、その製品は、自動車、食品、半導体の製造工程、農業や漁業などありとあらゆる業界で使用されています。

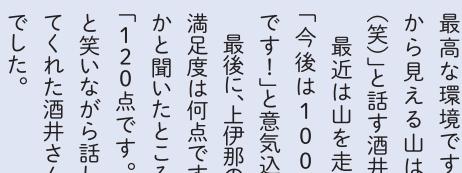
今後、更に必要になるであろう生産の自動化、省力化にピスコの製品が役立っています。

伊那第二工場  
の発電量



[経営管理部] 福澤さん

[入社4年目] 酒井さん



「最初は文系の私が役に立てることってあるのかなと正直不安でした。」と話し出し

たのは知財管理課の佐野さん。

佐野さんは県内の短期大学に進学後、会社

説明会でピスコに出会い、相談をする中で

働くイメージが持てたことが入社の決め手

になりました。

佐野さんは「人事の方と話をする中で、男女比が6対4と多くの女性が活躍して

いること、研修体制がしっかりといて、入社してから学べること、産休育休などの福利厚生が充実していることなどが不安を払拭

しました。」と話します。

現在はお客様に提供する製品の図面とモデルの作成が担当で、「お客様にも分かりやすく、かつ製品の権利を保持することができます」と話します。

休日は4歳から通っているダンススタジオで講師をしたり、イベントに出演したりしているそうです。

「コロナ禍が落ち着いたらイベントを通じて自分の好きなダンスを広めていきたいです。そこで出会った人たちと刺激を与え合えたうれしい。」と話してくれました。

「コロナ禍が落ち着いたらイベントを通じて自分の好きなダンスを広めていきたいです。そこで出会った人たちと刺激を与え合えたうれしい。」と話してくれました。

仕事に携わりたい」という思いを胸に上伊那に

一ターンして4年目です。

「実は高校生のときに春の高校伊那駅伝で伊那路を走り、地域の人達の温かい応援とアルプスの美しい景色が記憶に残りました。」と話します。

仕事については「製品技術課で金型更新や製品の設計変更業務を担当しています。元々文系

しててくれる環境があり、技術者としての物の見方や考え方を身に付けながら日々成長できる職場です。」と話してくれました。

上伊那の暮らしについて聞くと「非常に満足です。生活に必要なものは近くでそろいますし、とにかく自然が豊かでアウトドアが好きな自分にとって最高な環境です。登山が趣味なのですが、上伊那から見える山はほとんど登っていると思います（笑）」と話す酒井さんです。

最近は山を走るトレイルランにもハマつており、

「今後は100マイルのレースにも挑戦したいです！」と意気込みを話してくれました。

最後に、上伊那の満足度は何点ですかと聞いたところ、「120点です。」と笑いながら話してくれた酒井さんでした。

### ■株式会社日本ピスコの取材を終えて

今回取材させていただいたお二人とも文系出身でしたが、文系でも地元の製造業でやりがいを感じて働けるということが紙面を通じて読者の皆さんに伝わっていればうれしいです。また、休日もダンスや登山、マラソンなど上伊那でプライベートを満喫しており、しっかりリフレッシュできている様子が印象的でした。



LINE登録  
上伊那の就職情報  
も発信しています。